

本園の地域連携・地域交流

幼保連携型認定こども園 富士保育園

テーマ 「災害時の地域消防団との連携」

1・目的と経緯

児童、職員への防災訓練を目的とし、地元消防団の協力のもと毎年実施している。令和4年度は5月20日、令和5年度は5月8日に実施し、消防団のほか自主防災会、自治会役員も参加して行われている。

2・内容

地元消防団（富士吉田市消防団第21分団）との合同消火訓練。

地元消防団長と園長の防災についての懇談において以下の課題が浮かび上がった。

- ①富士保育園は墓地および西念寺境内に囲まれた立地にあることから消火栓からの距離が長く、実際に火災発生時を想定すると水利の確保が課題となる。
- ②市内には用水路が流れており、そのうちの一つは西念寺の境内を流れている。それを利用し、自然水利での消火活動の体験が現役の消防団員には乏しいという現状がある。

上記2点の課題に基づき地元消防団と協議の結果実際に園舎の傍を流れる水路の水を自然水利として確保したうえで消火訓練を行うこととした。地元自治会、自主防災会、市議員なども駆けつけていただき地域を挙げての訓練となった。



3・成果と課題

【園児への成果】 実際に消防ポンプ車からの放水を体験することで火災予防への関心が高まったうえに、職業消防として地元には身近な消防団が存在し地域の防災に役立っていることを知る。

【職員への成果】 園舎の立地の特性を再確認するとともに、自然水利からの放水能力を実感できた。また、毎月の避難訓練に加えたことで地域と連携した防災活動の継続した取り組みの必要性を知った。

【課題】 見学学習のみになっている現状から今後は園児たちが主体的に自衛消防活動へ参加するなど活動を広げていきたい。

